



動物愛護だより vol.3

地域猫活動ってなに？

地域猫活動とは、飼い主のいない猫と、地域住民の方々の共生を目指す活動です。つまり「**地域に猫がいても、地域の皆がイライラしなくて済むようにする活動**」と言えます。



車を傷付けられたら…
鳴き声がうるさくて眠れなかったら…
家の庭や花壇に毎日フンをされたら…
毎年のように子猫を産み落とされたら…
誰だって嫌です!! 怒りたくもなります!!



では、どうすれば皆がイライラしたり困ったりすることなく暮らせるのでしょうか？



根本的な解決には…
・繁殖制限(TNR)による自然減
・地域でエサとフンの始末を管理

地域には**猫で困っている人**と**助けたい人**が両方います。両者がともに納得できるように猫を“**管理**”すること。それこそが**地域猫活動**です。

TNR 活動とは？

- T**rap (捕獲)
- N**euter (避妊去勢)
- R**eturn (元の場所に戻す)



地域猫活動のカギになる取組です。まず、**避妊去勢手術**をして新たな猫が増えないようにします。元の場所に戻し、その猫の一生を見守ります。緩やかに猫が減少し、**3年程度でぐっと減る**と言われています。

活動により避妊去勢が済んでいる印として、耳の先が**桜の花びらのようにカット**されることが多いです。



とっても大事!! “**マナーのない単なるエサやり**”は迷惑行為です!

お腹を空かせて可哀想だからと餌をあげる方がいますが、それだけでは、**実は結果として飼い主のいない、お腹を空かせた猫を増やしてしまいます。**猫は繁殖力が非常に強く、1年に約2回出産でき、単純計算で1年で12匹、2年で72匹、3年で432匹と「**ねずみ算式**」に増えます。猫を助けたいのであれば、ぜひ、**避妊手術**をしてあげてください。そして、トイレや後片付けの世話もしてあげてください。中途半端ではなく、最後まで見守ってあげるのが愛情です!!



平成29年度に群馬県は“**地域猫活動**”への支援を開始します!

獣医師会、動物愛護団体等と連携して、地域猫活動を行う地域の支援を始めます。**ふるさと納税**による制度なので、寄附のお願いなど、広報にご協力をお願いします!

お待たせしました!



やっぱり

犬

が好き!!



犬は人の気持ちに寄り添う動物です。どんなに仕事などで疲れて帰っても、しっぽをブンブン振って「おかえり!!」と出迎えてくれる愛犬の姿を見れば、疲れも吹き飛んでしまいます。

- つらいことがあった時、犬がそっと横に座って一緒にいてくれたこと -

犬を飼ったことがある人なら、一度はそんな経験があるのではないのでしょうか。

誠実で優しい家族であり友達である愛犬。幸せにするか不幸にするかは、飼い主である私たちにかかっています。

法律で決められた義務はもちろん、彼らの Quality of life (人生ならぬ、犬生の質) を高めるために必要なことを、今号ではお伝えします。

当たり前のことですが、動物と暮らすには、お世話をするための「**時間・お金・体力**」が必要です。特に、犬はただ飼うだけではだめで、それを行わないと**法律違反**になってしまういくつかの**義務**があります。

お世話やしつけ、 遊んであげる**時間**



犬は社会性がとても高いので、**向き合う時間は必ず**持ちましょう。

コミュニケーションが足りないせいで、問題行動が起きてしまうことも。



餌やりや掃除だけでなく**散歩やしつけ、病院に連れていったり、遊んで**あげたり…時間は沢山必要です。

ごはん、病院、美容、 しつけ等にかかる**お金**



ケガや病気の治療費や、健康診断やワクチン代金、



シャンプーやトリミングの美容代等、**何かとお金がかかります。**

信頼できるフードは高価かもしれませんが、粗悪なフードにより病気になって、医療費がかかるよりは、安上がりかも…



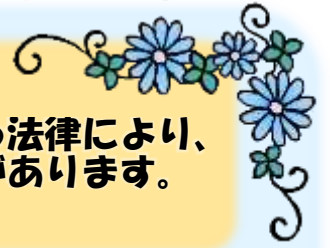
毎日きちんと 犬と向き合える**体力**



大型犬はもちろん、小型犬にも運動は必要!! 個体差もありますが、**15分~1時間程度の疲れるくらいの運動**ができるといいと言われています。

散歩に連れて行くことはもちろん、老犬になって**介護**が必要になった時、そのお世話には結構体力が必要です。

犬を飼ったらやるべきこと!!



★市町村への登録

飼い始めてから 30 日以内に、一生に一度、市町村(役所)に登録

★狂犬病の予防注射

年に 1 回、市町村の集合注射か、動物病院で接種。

狂犬病予防法という法律により、違反すれば罰則があります。

◆混合ワクチンの接種

ジステンパーやパルボウイルス、伝染性肝炎等、ワクチンで予防できる病気は、かかれば重篤になるものもありますし、レプトスピラ症のように、人にも感染する**人獣共通感染症**もあります。3 種混合、5 種混合など種類が様々ありますが、地域やその犬の活動範囲によって必要なワクチンが異なるので、獣医師に相談のうえ、防げるものは防いであげましょう。

◆フィラリアの予防

フィラリアとは蚊によって感染を広げる厄介な**寄生虫**で、心臓と肺動脈に寄生します。感染すると呼吸困難や腹水が溜まるなどの症状を起こし、最終的には苦しんで死んでしまいます。月に 1 度薬を飲ませたり注射をすることで予防できますが、逆に、**予防しなければ群馬県内でもほぼ 100%感染**してしまいます。室内にも蚊はいます。室内飼いでも油断せずに予防が必要です。

◆ノミ・ダニの予防

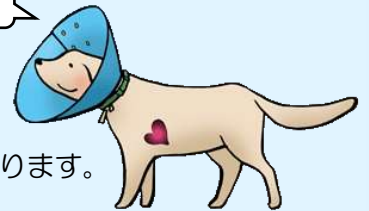
最近では**マダニ**が媒介する**人間への病気**も問題になっていますね。たかがノミ・ダニだとあなどらず、きちんと予防することが大切です。



◆避妊・去勢の徹底

健康な体にメスを入れることをためらう飼い主さんもいらっしゃいます。が!! 不妊手術をすることで無計画な妊娠を防ぎ、乳腺腫瘍や前立腺がん等の**生殖器系の病気を将来防ぐ**ことができます。また、繁殖行為がしたいのにできないストレスから解放してあげることもなります。

かかりつけの獣医師さんがいると安心だね♪



◆迷子札・マイクロチップ

動物愛護センターに収容される犬たちがなかなか飼い主の元へ帰れないのは、誰が飼い主か分からないからです。登録の際にもらえる**鑑札**、狂犬病予防注射の際にもらえる**注射済票**や、迷子札を首輪に付けるほか、皮膚の下に埋め込む**マイクロチップ**も有効です。

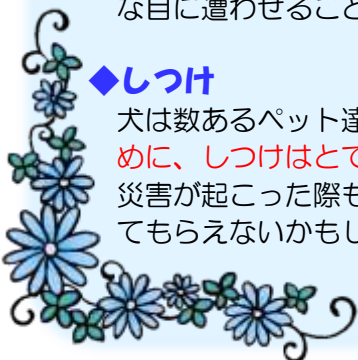


◆お散歩マナー

排泄は自分の敷地で済ませてから散歩に行くのがマナーです。**町は犬のトイレではありません**。寄生虫の感染を広げないためにも、ウンチは放置せず、必ず持ち帰って処理しましょう。また、ドッグラン等の指定された施設以外の公共の場所で**犬を放すことは条例違反です!!**「うちの子はお利口だから大丈夫」は通用しません。何かに驚いて車道に飛び出してしまうたり、他の犬とのケンカ等、犬を危険な目に遭わせることにもつながります。お散歩をする時は必ずリードを着用しましょう。

◆しつけ

犬は数あるペット達の中でも、殺傷能力がある動物であることを忘れてはいけません。**人との共生のために、しつけはとても大切**です。トラブルを未然に防ぐため、きちんとしつけをしましょう。災害が起こった際も、最低限のしつけができていないと、避難所で迷惑をかけたり、避難所に受け入れてもらえないかもしれません。



うちの子自慢 コーナー

愛護センターから
譲渡された子達の
幸せな姿をご紹介します!!



西本 白くん&レミーくん
2016年5月11日譲渡
きまぐれ白くんとなつこいレミーくん。
とっても元気! いたずらっ子です。



田中 ぴょんぴょんちゃん
2016年9月27日譲渡
元気にぴょんぴょん跳んでいます!!
皆に囲まれてとっても嬉しそう♪



ボランティアのぼやき



by ボランティア I & Y

譲渡会でわんちゃんご希望の方の中には、子犬にこだわる方がいらっしゃいます。「成犬はなつかないのでは」というご心配があるようですが、センターの成犬をぜひよく見てください。みな人が大好きで、それぞれに味わい深い犬たちです。子犬のゼロからのしつけは、実はとても大変です。ボランティアとして、成犬の良さ・魅力を、もっと発信していきたいなと思っています。

編集後記

1号、2号は猫の特集でしたが、ようやく犬の特集を組む番がやってきました!! 大好きの皆様、お待たせいたしました。書き切れないことがまだ沢山ありますが、また今後の特集にしていこうと思います。 愛護だより編集委員一同



愛護センターでは、動物たちのお掃除に使う**タオル**や**新聞紙**等のほか、**ごはん**や**おやつ**、**おもちゃ**等の寄付も受け付けております。ご協力をお願いいたします。

飼い主募集中の犬猫情報 随時更新しています♪
→<http://www.pref.gunma.jp/04/p13200037.html>

譲渡前講習会
毎週木曜日 14時~16時
第2・4土曜日 10時~12時
譲渡会
第2・4土曜日 14時~16時
※事前に譲渡前講習会を受けてください

お問い合わせ
群馬県動物愛護センター
佐波郡玉村町桶越 305-7
TEL:0270-75-1718
受付:8時30分~17時15分(平日)

